交流だより

山梨県立あけぼの支援学校
令和３年９月１０日発行
令和３年度第１号

交流及び共同学習について

校 長　小田切 一博

障害のある子供と障害のない子供、あるいは地域の障害のある人とが触れ合い、共に活動する交流等活動は、障害のある子供にとっても、障害のない子供にとっても、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会となる等、大きな意義を有するものです。また、学校卒業後においても、障害のある子供にとっては、様々な人々と共に助け合って生きていく力となり、積極的な社会参加につながるとともに、障害のない子供にとっては、障害のある人への積極的な支援や人々の多様な在り方を理解し、障害のある人と共に支え合う意識を育む目的があります。本校においては、これまで交流校や地域の関係者のご理解とご協力の中、充実した取り組みを積み上げてきているところです。

新型コロナウィルスの感染が拡大し、直接的な交流が難しい中、昨年度の試みとして、ビデオ等を活用した間接交流も取り入れて実施しました。今年度は、リアルタイムの双方向の交流について取り組みを始めました。事前に担当者がきめ細かく連絡調整を行ったり接続テストなどを行ったりする中で、学部ごと交流会を実施することができました。自己紹介や音楽等の発表、クイズ大会等を実施し、画面越しではありますが、双方が知り合う機会になったようです。今後も実施方法を工夫しながら、充実した交流等活動をすすめいくことができたらと考えております。交流等活動を通して、子供たちが幅広い体験を得、視野を広げることで、豊かな人間形成に資することにつながりますよう、お願いいたします。

学校間交流

○増穂南小学校との交流

７月２日（金）に増穂南小学校の児童とビデオ通話によるオンラインでの交流を行いました。増穂南小学校の児童から「好きなアニメは何ですか？」「好きな勉強は何ですか？」と聞かれると、お話をしたり身振りで答えたりして、かかわりを楽しむことができました。本校の児童も、事前に考えた質問に加えて、その場で思ったことを質問する等、積極的に交流に臨むことができました。制限はある中ですが、同年代の児童とのかかわりを大切にしていきたいと思います。

【ビデオ通話によるオンライン交流をする様子】

○韮崎西中学校との交流

７月１日（木）に韮崎西中学校の福祉ボランティア委員会の生徒とオンラインによる交流をしました。それぞれのグループに分かれ、自己紹介や質問をしました。韮崎西中学校の友達がテレビ画面に映し出されるとみんな笑顔になり、韮崎西中学校の友達からの「好きな食べ物は何ですか？」「好きな授業は何ですか？」等の質問に真剣に答えたり、たくさん質問をしたりすることができました。その後、「クイズ」「しりとり」「ジェスチャーゲーム」等の活動を行いました。生徒たちは双方向のやり取りを楽しみ、充実した時間を過ごすことができました。

【自己紹介や質問を聞く様子】

○高等部三校間交流

甲府商業高校と日本航空高校と行っている三校間交流では、毎年交換しているプロフィール表の作成を行いました。趣味、特技、チャームポイント等、自分をアピールできることを書いて届けました。相手校から届いたプロフィール表は廊下に掲示し、どんな人なのか想像しながら見ました。９ 月にはビデオメッセージの作成と交換を予定しています。そして第２回の交流会が１２月にオンラインで予定されています。第２回の交流会を楽しみに、今後はビデオメッセージで声を聞いたり、学習の様子を見たりして、お互いの理解を深めていければと考えています。

【プロフィール表を書く様子】

○韮崎工業高校との交流

本校では、韮崎工業高等学校木材加工班の方々に教材作製をお願いすることを通して行う交流を例年実施しています。例年は対面して交流会を行いますが、今年度の第１回交流会は６月 23 日（水）にオンラインで両校をつないで実施しました。両校の参加児童生徒を３つのグループに分けて、それぞれのグループごとの自己紹介や質問タイムで大いに盛り上がりました。韮崎工業高等学校生徒から教材作製の様子を説明してもらったり太鼓の演奏をしてもらったりすると、それらの様子が映し出された画面を、本校の児童生徒は興味深そうに見つめていました。本校からは、これまでにいただいた教材の紹介や実際にそれらを日々の学習活動に活用している様子を見てもらい、感謝の気持ちを伝えました。終始楽しい雰囲気の中、オンラインでの交流でも両校の児童生徒がお互いの多様性を感じ合い、認め合う良い機会となりました。１月の教材受け入れ式が今から楽しみです。

【自己紹介に興味津々！】

いきいき教育地域人材活用推進事業

幅広い経験や優れた知識・技術をお持ちの地域在住の専門家・社会人を講師に学校に招ずる「いきいき教育地域人材活用事業」を実施しました。６月２９日（火）には、２０年来本校での活動にご協力いただいている「ピッピの会」主催者の宮崎さな㐂様による、絵本の読み聞かせや歌遊びの鑑賞会を実施しました。「おはながわらった」「赤い鳥　小鳥」の歌遊びでは、児童生徒はパネルシアターや指人形の動きを興味深そうに見つめながら、歌に聴き入っていました。「きょだいな　きょだいな」「るるるるる」の絵本の読み聞かせでは、リズミカルで抑揚豊かな調子で繰り広げられる絵本の世界を楽しみました。児童生徒は読み聞かせに合わせて、身体の動き、発声で豊かに表現しながら聴き入っていました。今回は新型コロナウイルス感染症対策として、体育館で鑑賞するグループと校内でのオンラインで視聴するグループに分けて行いました。それぞれの児童生徒が歌や絵本の世界に引き込まれる素敵な時間を過ごすことができました。

【パネルシアターを鑑賞する様子】

※前期の学校間交流は全て間接交流として実施しましたが、直接ふれあえなくてもプロフィール表の交換やビデオ通話によるオンラインでのやり取りを通して、お互いのことを知り、思いや考えを伝え合う中で、認め合う時間になったと思います。いきいき教育地域人材活用推進事業では、「ピッピの会」による絵本の読み聞かせなどを、体育館での感染症対策を施す中でアクリル板越しで鑑賞することもしましたが、直接鑑賞できる大切さを実感することができました。大切にしている楽しみな時間だからこそ、お互いが安心して交流できる時間の作り方をこれからも検討していきたいと思います。